

コガムシ

Hydrochara affinis (Sharp)
コウチュウ目・ガムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

10年前には福井市等の市街地郊外でも見られたが、近年は生息地数・個体数ともに減少傾向が著しい。

分 布

琉球列島を除くほぼ日本全域に分布する。県内では従来嶺北～嶺南の各地でみられたが、現在は局地的である。

種の特徴

体長 16～18 mm の水生ガムシ類の一種。全身ほぼ黒色で、主に平野部の水田や湿地等に生息する。幼虫は捕食性、成虫は植食性である。

生息を脅かす要因

湿地の消失、外来種の侵入、農薬散布による生息環境悪化等が挙げられる。

参考文献 井上・中島 (2009)、環境省 (2015)、上野ら (1985)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○					○	○	○	○		○	○	○

ガムシ

Hydrophilus acuminatus Motschulsky
コウチュウ目・ガムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

かつては良好なため池では多くの個体が捕獲されたが、近年は生息地の減少に加え、残存するため池でも生息数が激減している。

分 布

国内のほぼ日本全域に分布する。県内では従来嶺北～嶺南の各地でみられたが、姿を消した地域も多い。

種の特徴

体長 33～40 mm の日本産水生ガムシ類の最大種。全身ほぼ黒色で、ため池等に生息する。幼虫は捕食性、成虫は主に水草を食うが動物質のものを食べることもある。

生息を脅かす要因

ため池の消失、アメリカザリガニやオオクチバス等の侵略的外来種の定着、農薬散布による生息環境悪化等が挙げられる。

参考文献 環境省 (2015)、都築ら (2000)、上野ら (1985)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○

オオチャイロハナムグリ

Osmoderma opicum Lewis
コウチュウ目・コガネムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

今回の調査では確認できなかった。比較的稀で、注目度の高い種であることから、本種をレッドデータブックに絶滅危惧種として記載する自治体は多い。もともと希少な種であるが、本種が好むような大木の残る環境は減少していると考えられる。

分 布

本州～九州に分布。本県では池田町冠山の古い記録のほか、大野市下打波、仏原ダム、南越前町夜叉ヶ池等にも記録がある。今回は確認できなかった。

種の特徴

体長 26～36 mm。背面は皮靴様で鈍いつやのある暗赤褐色～黒褐色。森林内の巨木、老木の樹洞を主な生息圏とし、発生する樹木は 20 種以上にもなる。幼虫は、木洞に溜ったフレークを食べる。成虫はじゃ香のような匂いを放つ。成虫出現期は 7～9 月。

生息を脅かす要因

森林伐採、道路、ダム等の整備によって、周辺の自然林の乾燥化が進む等して、本種の生息環境は悪化すると考えられる。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、環境省 (2015)、岡島・荒谷 (2012)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○							○	